

モニターの

注目

今月のモニターさんは、越智里美香さんです。

越智さんは、自らの故郷である島地部を視察して、昔と今の違いを感じたようです。それは、地域での世代を超えた交流。今回は、地域のコミュニティに注目です。

地域のコミュニティを再生しよう！

本年度、市政モニターとして島地部を視察する機会をいただきました。

故郷を訪ねて…

就学や仕事の関係でここから離れてしばらくになります。が、私自身この大らかで自然豊かな島で育ちましたので、島に向かう船中、潮の香りを懐かしく感じました。でも、海からの潮の匂いはあの頃と同じでしたが、住民の人たちにお会いすることもほとんどなく閑散とした様子には寂しい思いもしました。



現在、笠岡諸島の居住人口は約2600人、私が育った頃に比べると大きく減少しています。その以上に驚いたのは高齢化率の高さです。島地部では52・3％～62・6％（笠岡市全域では26・8％、全国では19・5％・平成17年

4月現在）という数字が発表されています。

そういった状況の中、生まれ育った島を活性化させようと、家庭や家業を抱えながらも自分たちの手で作り上げ、そして活動なさっている皆さんのお話は大変感じ入るものがありました。

今の地域に足りないものは

しかしその反面、私が過ごした頃の、自然な地域交流・助け合いが少なくなってしまうている寂しい状況が察せられました。大人と子どもの触れ合う機会が、大変少ないように感じます。以前は隣の子も自分の子も同じようになり、また隣のお祖父さんも家のお祖母さんも同じようにいつも気を掛け合い、ということがごく普通でしたが、残念なこと到现在では寡少のようです。

一方、市内では、子どもたちの安全を守るために、保護者が登下校中の警護・警備役となっています。地元ではないにしても、不穏な事件が続きましたので、今の時代では

致仕方のないことと思います。が、隣家でいただくご飯の美味しさや、怖い怒鳴り声の温かさを、今の子どもたちは知り得ないのでしょか。



「共創」という共通意識

この島地部視察に前後して、『わがまちねっと』というネットワークが笠岡青年会議所を軸に構築されました。まちづくりやボランティア活動を積極的にを行う個人・団体が、

行政に頼るだけではなく、一人ひとりがそれぞれの考えで多様な活動を続けていくうえで、お互いの情報を共有し、連携をとりやすい体制を構築

して、まちを「共創」していきましようというものです。一昔前の島には、このような思いを自然にもった人たちが今よりも多かったのだと思います。

現在、この『わがまちねっと』では、登録団体が開催するイベントの情報などが公開されています。団体だけでなく個人でも登録できるというネットワークです。もともと皆さんの人が登録し、情報共有が活発になれば、一昔前のように、地域ぐるみの助け合い・地元住民の交流が少しずつでも戻ってくるかもしれない。



このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」があれば併せてどうぞ。

お便り…〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一一

企画政策課モニター係

☎2114 FAX20280